

2013 年 12 月 18 日

丸紅株式会社  
三井海洋開発株式会社  
三井物産株式会社  
株式会社商船三井

ブラジル沖合プレソルト層下油田カリオカ鉱区向け超大水深対応 FPSO 備船事業を  
三井海洋開発、三井物産、商船三井及び丸紅の 4 社で推進

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、社長:宮崎俊郎、以下「三井海洋開発」)、三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:飯島彰己、以下「三井物産」)、株式会社商船三井(本社:東京都港区、社長:武藤光一、以下「商船三井」)及び丸紅株式会社(本社:東京都千代田区、社長:國分文也、以下「丸紅」)の 4 社は、三井海洋開発が推進しているブラジル沖合のプレソルト層下油田 Carioca(カリオカ)鉱区向け FPSO(注 1)の長期備船事業(以下「本案件」)に三井物産、商船三井、丸紅が出資することに合意し、本日付で関連諸契約を締結しました。

今回の合意は、三井海洋開発が設立済のオランダ法人 Carioca MV27 B.V.(以下「MV27 社」)に三井物産、商船三井及び丸紅が出資参画し、4 社で本案件を共同推進するものです。MV27 社は、ブラジル国営石油会社子会社 Petrobras(45%)、BG グループ(30%)及び Repsol Sinopec Brasil S.A.(25%)がそれぞれ出資する BM-S-9 コンソーシアムと 2013 年 12 月に 20 年間の長期備船契約を締結済です。

本案件の FPSO は、完工後に“FPSO Cidade de Caraguatatuba MV27”と命名され、2016 年第 3 四半期よりブラジル沖合の BM-S-9 ブロックにあるカリオカ鉱区の開発に投入される予定です。同鉱区はブラジル・リオデジャネイロの沖合南約 300km に位置し、海底下約 5,000m のプレソルト層(岩塩層)下にある海底油田の一部です。

本案件は、三井海洋開発、三井物産、商船三井及び丸紅が 4 社共同で取り組む 3 件目のプレソルト層下油田向け FPSO 備船事業となります。尚、ブラジルの現地パートナーであり、本案件の入札に三井海洋開発と共同で応札した Schahin グループは、本 FPSO のチャーター開始時までに MV27 社に対して最大で 15%まで出資参画するオプションを有しています。

注1) Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備

<FPSO 概要>

原油生産能力	10 万バレル/日
ガス生産能力	177 百万立方フィート/日
原油貯蔵能力	160 万バレル
係留方式	スプレッド・ムアリング(水深 2,100 メートル)

<出資比率>

	Schahin グループ出資参画前	Schahin グループ出資参画後※
三井海洋開発株式会社	29.4%	25.0%
三井物産株式会社	32.4%	27.5%
株式会社商船三井	20.6%	17.5%
丸紅株式会社	17.6%	15.0%
Schahin グループ	-	15.0%

※Schahin グループは最大で 15%まで出資するオプションを有していますが、同社の出資比率が 15%未満となる場合は、同社以外の出資比率が調整されます。